

この冷凍機は On-OFF スイッチが On の時には自動的にスタートします、**ベルト点検時には必ずスイッチを OFF にして行って下さい。**

1. ユニット外観検査

ユニット外観の傷やダメージが無いか、運転中に異音等ないか検査します。
コンデンサーコイルに異物がないか、点検し、外側の冷媒配管等に傷やオイル洩れが無いか注意します。



2. エバポレータの点検

エバポレータコイルにビニールやゴミが付着していないか、霜・氷が付いていないか点検します。
 霜が付いていたら**手動霜取り**を行います。
 運転後**ファンモーター (3ヶ)** が全て作動しているか確認します。

6. 冷媒の点検

冷凍機を高速冷却運転にて 10 分以上運転し、**サイトグラス内のフロートが少し浮く程度で十分です。**



メイン S/W 長期間ご使用にならない場合**メイン S/W を OFF** にするとバッテリー上がり防止になります。



レシーバタンク
サイトグラス

ラジエター
キャップ



3. エンジン冷却水の点検

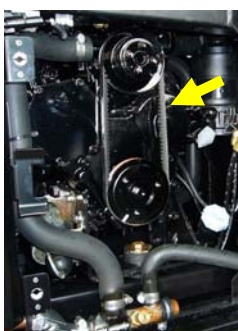
ラジエター・ラジエターキャップに異状はないか、点検します。
クーラントが不足するとアラーム # 37 (冷却水レベル点検) が点灯します。
 熱い時は開けないで下さい。

エンジンオイル
キャップスティック



4. エンジンオイル量の点検

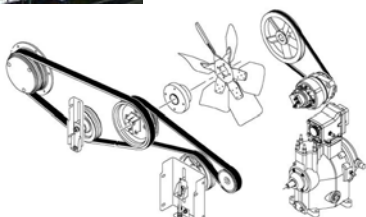
エンジンオイル量はキャップスティックに取り付けられた**ケージの ××印内**にて使用します。
 エンジンオイル量が減るとアラーム **# 66 (オイルレベル低下)** **# 19 (エンジン油圧低下)** が点灯します。



ウオータ
ポンプベルト

5. ベルトの点検

ウオータポンプベルトに割れ目や傷が無いか点検します。
 ベルトが緩むとベルト鳴きやベルト外れの原因になります。



7. 燃料の点検

運行中燃料切れのない様運行前に点検します。

